

平成25年8月の赤潮発生状況

大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況及び発達状況	最大面積	発生水深	最高細胞数	漁業被害の有無
12	8.5～8.12	西宮市から堺市にかけての沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp. <i>Chaetoceros</i> spp.	8月5日、左記の海域で <i>Skeletonema</i> spp. による赤潮が確認された。さらに8月12日の調査では範囲を拡大し、和田岬と岸和田市を結ぶ線以東の海域に存在していた。両調査日とも、 <i>Chaetoceros</i> spp. が第2優占種として赤潮を構成していた。その後、8月19日の調査ではこの赤潮は消滅していた。	370km ²		4.71×10 ⁴ cells/ml	なし
13	8.5	泉大津市沿岸	<i>Chaetoceros</i> spp.	8月5日、左記の海域で <i>Chaetoceros</i> spp. による赤潮が確認された。その後、8月12日の調査ではこの赤潮は消滅していた。	60km ²		2.14×10 ³ cells/ml	なし
14	8.12～8.19	岸和田市沿岸	<i>Rhizosolenia fragilissima</i>	8月12日、左記の海域で <i>Rhizosolenia fragilissima</i> による赤潮が確認された。さらに8月19日の調査では西宮市から堺市沿岸で存在していた。その後、8月26日の調査ではこの赤潮は消滅していた。	140km ²		8.24×10 ³ cells/ml	なし
15	8.19	岸和田市から阪南市にかけての沿岸域	<i>Myrionecta rubra</i>	8月19日、左記の海域で <i>Myrionecta rubra</i> のパッチが確認された。このパッチは8月26日の調査では消滅していた。	— km ²		不明	なし
16	8.26～	神戸市から堺市にかけての沿岸から沖合	<i>Skeletonema</i> spp. <i>Chaetoceros</i> spp. <i>Leptocylindrus danicus</i> (複合赤潮)	8月26日、左記の海域で <i>Skeletonema</i> spp.、 <i>Chaetoceros</i> spp.、 <i>Leptocylindrus danicus</i> の複合赤潮が確認された。	260km ²		4.37×10 ³ cells/ml (<i>Skeletonema</i> spp.)	なし

※7月17日より続く *Thalassiosiraceae* 小型種の赤潮 (No. 11) は8月5日の調査では確認されなかった (発生期間7月17日～7月29日)。